

# 埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> X(旧Twitter) : @sairingi

## 令和5年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 臨時会員総会が開催される



令和5年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会が令和6年3月18日（月）にRaiBoC Hall（市民会館おおみや）小ホールで開催された。本臨時会員総会の議案審議内容は、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会の令和6年度事業計画案と令和6年度収支予算案であった。

総会は長澤英一郎事務局次長の司会進行により行われた。はじめに神山清志会長の挨拶が行なわれ、参加された会員の皆様の日頃のご協力に感謝の意を表された。続いて名誉会員の津田聰一郎氏の紹介があった。

神山会長 議案審議に入る前に出席者から 笹野勝年氏（社会医療法人熊谷総合病院）が議長に任命され、 笹野議長より総会役員が指名された。資格審査委員長に佐瀬勝也理事（東松山医師会病院）、資格審査委員には東部地区から久保田亮氏（埼玉県立大学）、南部地区から神嶋敏子氏（埼玉県立小児医療センター）、西部地区から伊藤隆史氏（医療法人明晴会西武入間病院） 北部地区から阿部健一郎氏（深谷赤十字病院）が任命された。また、書記には田立さやか氏（越谷市立病院）と赤岩千優氏（さいたま市立病院）が、議事録署名人には、幸田早貴氏（埼玉県済生会川口総合病院）と久保居由紀子氏（JCHO埼玉メディカルセンター）が任命された。



笹野議長

審議前に 笹野議長は、「本日18時30分現在の出席者数は62名、委任状出席者数1,814名、議決権行使書数567名で、合計2,443名となる。この数は第一号から第二号議案を審議するための必要者数である3月1日現在の全員会員数3,581名の過半数を超えており、定款第18条の規定により本総会が成立する。」と宣言された。（議会の出席者確定人数は79名で合計2,460名）

議事審議は佐瀬議事運営委員長より議事日程が提案され、それに従い 笹野議長の進行により開始された。臨時会員総会の第一号議案である令和6年度事業計画案について神山会長から説明があり、また第二号議案である令和6年度収支予算案が松岡優副会長より提案された。両議案とも質疑応答はなく、議決権行使書567名中、反対0名で、出席者拍手多数により承認された。以上をもって、総会役員、書記が解任となり臨時総会は閉



会した。

総会は、笹野議長の円滑な議事進行と出席していただいた会員の皆様のご協力により滞りなく開催ができた。笹野議長、総会役員ならびに会員の皆様に深謝する。

**追記** 今回、総会に先立ち昨年の12月3日に開催された第51回埼玉県医学検査学会の優秀発表賞・学会長特別賞・埼臨技奨励賞の表彰が久保田亮理事の進行で行なわれ、12名の方が受賞された。受賞された皆様には謹んでお祝いを申し上げたい。また、総会終了後、第52回埼玉県医学検査学会の木暮憲幸学会長より学会の案内があり、学会実行委員の紹介と学会参加や演題募集などの協力についてのお願いがあった。

### ○優秀発表賞

- 松本絵里香 (獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科)
- 菊池 航介 (埼玉県済生会加須病院)
- 神成絵利伽 (医療法人社団協友会 東川口病院)
- 佐藤 成美 (戸田中央総合健康管理センター)
- 野崎 朱里 (医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院)
- 加藤 鉄平 (埼玉県済生会加須病院)

### ○学会長特別賞

- 内田 春香 (越谷市立病院)
- 高橋 諒采 (埼玉医科大学総合医療センター中央検査部)
- 小島 典江 (地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター)

### ○埼臨技奨励賞

- 橘 宙香 (埼玉県立大学 健康開発学科 検査技術科学専攻)
- 寒河江菜穂 (学校法人明星学園 国際医療専門学校)
- 館野 結衣 (大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科)

(文責:三木隆治)



優秀発表賞 受賞者



学会長特別賞 受賞者



埼臨技奨励賞 受賞者



## 第52回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和6年12月8日(日)

会場：ソニックスシティ

テーマ：Challenge!

サブテーマ：～多様化するニーズへの実践と進化～



### 「抄録作成のポイント」

第52回埼玉県医学検査学会

学術部 鈴木 隆

第52回埼玉県医学検査学会で学術部を務めさせていただきます、JCHO埼玉メディカルセンターの鈴木隆と申します。今回は発表の際に必要となる抄録、こちらを作成するためのポイントについてお伝えします。

発表することが決まったらまず始めに演題名を考えましょう。演題名は内容がイメージできるようなもの、明確かつ簡潔にし、長くなる場合には副題を使用します。抽象的なものや略語の使用は控えましょう。演題名さえ決まれば、過去の抄録集を参考にして作り上げていくことが近道となります。症例報告や研究・検討により若干書き方は変わりますが、基本的には「はじめに・目的」「症例・方法」「考察・結果」「まとめ・結語」の4つで構成されています。

**【はじめに・目的】**自分が何を明らかにし伝えるのか、簡潔にまとめます。

**【症例・方法】**症例の紹介や検討方法、データ抽出・評価方法について記載します。

**【考察・結果】**得られた結果から考えられることを他の症例や今回的方法と結びつけ考察し、結果では調査・評価した項目の数値や事実を明確に記述します。

**【まとめ・結語】**結果から言えること、言いたいことをまとめ、結果をどう解釈したのかを伝えることが大切です。

抄録を作成したら必ず先輩や上司にチェックしてもらいましょう。誤字脱字や文章のつながりなど、自分では気がつきにくいことも第三者の目でみると発見できます。抄録の場合、句読点はカンマ「，」、ピリオド「.」を使用してください。また、抄録には文字数の制限があり、本学会では本文で26文字×18行×2段=936文字以内です。オーバーした場合は事前に伝えておくべき内容や重要なことは残し、当日の発表時でも構わない内容は削除するなどの対応が必要となります。

抄録受付は令和6年5月1日(水)から7月17日(水)までとなっております。第52回学会テーマはChallenge！です。多くの発表者の登録をお待ちしております。

## 「初めての学会発表」

第52回埼玉県医学検査学会

学術部 峯岸 将臣

第52回埼玉県医学検査学会の学術部を務めます、戸田中央メディカルケアグループ新座志木中央総合病院の峯岸将臣と申します。

私が初めて学会発表したのは、入職して3～4年目でした。入職後、生理検査班に配属されましたが、生理検査班員としてまだ独り立ちできていなかった頃に上司から学会発表への声掛けがあり、少しでも先輩方の力になればと思い二つ返事で了承した記憶があります。抄録は当時の私の知識では完成には到底及ばなかったため、上司に言われるがままに作成しましたが、スライドはわりと自由に作成させていただけたおかげで、当日も自分のテンポや言葉で発表することができ、大変ではありました達成感も得られた学会発表となりました。その後も何度か学会発表を行い、徐々に抄録やスライド作成のコツなどを掴み、今では後輩への学会発表の手助けができるようになりました。

私の経験を踏まえ、これから学会発表を考えている方にお伝えしたいことは「発表者は自分」であることを忘れないでください。学会発表にはルールやコツなどが多くありますので、上司や先輩にたくさん相談しながら進めていくことになりますが、上司や先輩の意見を一語一句書き写すのではなく、自身の言葉や思いを入れながら作成することで、「やらされる発表」ではなく「自分の発表」となり、達成感や満足感が得られると思います。また、学会発表を手助けする上司や先輩方にお伝えしたいことは、若い技師が発表者となる際はほとんどが上司・先輩主体となってしまうかもしれません、それでも自身の意見を全て押しつけるのではなく、発表者の言葉や思いも取り入れながら共同で作成していけば、より発表者の成長に繋がるのではないかでしょうか。

最後に今回学会発表を検討されている方々、特に初めての方は不安でいっぱいかと思いますが、埼玉県医学検査学会は同じ埼玉県で働く臨床検査技師同士の集まりですので過度な緊張は必要なく、いつも通りの姿でChallenge！していただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 研究班研修会報告

### テーマ 令和5年度 一般検査スライドセミナー

主催 一般検査研究班

実施日時：2024年1月29日 19時00分～20時00分

会 場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点

講 師：藤村 和夫（埼玉県済生会川口総合病院）

参加人数：会員226名

出席した研究班班員：藤村和夫 室谷明子 柿沼智史 渡邊裕樹 中川禎己 松本実華  
織田喜子 小針奈穂美

#### 研修内容の概要・感想など

今回の研修会は「令和5年度 一般検査スライドセミナー」について藤村氏を講師にWebにて開催した。

全30問の画像問題が出題され、前半は参加者に考えていただき、後半に解説を行う形式で行われた。問題には、赤血球形態の鑑別、上皮細胞類、異型細胞、結晶類、マルベリー細胞、混入物など幅広く出題された。

解説では、臨床的意義や類似成分、鑑別する際に注目すべきポイントを交えて説明があった。

赤血球の鑑別では、尿定性検査と尿沈渣検査で結果の乖離が起こる場合があり、その原因に赤血球の誤認がある。赤血球に類似する成分には、シュウ酸カルシウム結晶、レシチン顆粒、脂肪球、酵母様真菌がある。鑑別する際のポイントとして、シュウ酸カルシウム結晶では、光沢があり、大小不同を認める。レシチン顆粒では背景に精子を認めることやレシチン顆粒は大小不同がある。しかし、前立腺の治療を行っている場合には精子が出現しない場合がある。脂肪球では、光沢があり、大小不同である。酵母様真菌では、出芽や菌糸を見つけることで鑑別ができる。

結晶の鑑別では、尿定性検査でのpHの値が鑑別する際に重要である。尿酸アンモニウム結晶は、アルカリ性尿で認めるが、小児で脱水や下痢が起こっている場合には、酸性尿でも認めることがある。

ヘマトイジン結晶とビリルビン結晶との鑑別では、中心のひし形やとげの長さ、背景の濃染を確認することで鑑別ができる。

また、シスチン結晶とコレステロール結晶では共に板状の結晶であるが、シスチン結晶では形が六角形であり、結晶の厚さを比較するとコレステロール結晶は薄く、背景が透けて見えることから鑑別ができる。

上皮細胞類では、ウイルス感染細胞と異型細胞の鑑別について、異型細胞の場合にはクロマチンの増量、核の大小不同、核形不整を認めることから鑑別できる。

また、集塊状の尿路上皮細胞と異型細胞では、尿路上皮細胞では均一であり、細胞が同じ色調を認める。一方、異型細胞では核や細胞が大小不同であり、ピントの合う部分と合わない部分を認めることから鑑別できる。

円柱類では、硝子円柱とフィブリン円柱の鑑別について、染色した際に硝子円柱では染色されると、フィブリン円柱では染色されないことから鑑別できる。

また、円柱と紛らわしい成分として糞便の混入があるが、ろう様円柱との鑑別では、糞便成分の場合、細胞壁がカプセル状に認め、ろう様円柱では辺縁がはっきりと認めることから鑑別できると説明があった。

尿沈渣成分を鑑別する際に注目すべきポイントを類似する成分を交えて解説があり、分かりやすかった。形態から鑑別するだけではなく、定性検査の結果や染色性、背景に出現している成分、細胞の結合性など様々な視点から考えることが重要であると再確認することができる内容であった。

(文責：小針奈穂美)

**令和6年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第1回 理事会議事録**

**日 時：**令和6年4月11日(木) 19時00分より  
**場 所：**埼臨技事務所  
 　　さいたま市浦和区領家7-14-7  
**議 題：**I. 行動報告      II. 報告事項  
 　　III. 承認事項     IV. 議題  
**出 席：**現地にて出席  
 　　(理事)神山 松岡 猪浦 山口 長澤  
 　　松寄 松尾 佐瀬 綱野 三木  
 　　塚原 神嶋 伊藤(恵)  
 　　伊藤(隆) 久保田 長谷川  
 　　石井 神戸 小林  
 　　(監事)細谷  
 　　Zoomにて出席  
 　　(理事)阿部 長岡  
 　　(監事)なし  
**欠 席：**(理事)濱本  
 　　(監事)遠藤

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は21名で、現在22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

**I. 行動報告**

(令和6年3月14日～令和6年4月10日)

3月14日(木)令和5年度第12回理事会：

神山、松岡、猪浦、山口、濱本、  
 　長澤、松寄、阿部、松尾、綱野、  
 　佐瀬、三木、塚原、神嶋、  
 　伊藤(恵)、伊藤(隆)、長岡、  
 　久保田、長谷川、神戸、石井、  
 　小林、遠藤、細谷

3月14日(木)臨時会員総会打合せ：長澤

3月14日(木)第5回事業部会議：

塚原、伊藤(恵)、神嶋、伊藤(隆)

- 3月15日(金)埼玉県立大学卒業式：神山
  - 3月17日(日)タスクシフト指定講習会  
 　　(埼玉県023)：猪浦、松岡、長澤、  
 　　松寄、松尾、佐瀬、伊藤(恵)、  
 　　神嶋
  - 3月18日(月)令和5年度臨時会員総会：  
 　　神山、松岡、猪浦、山口、濱本、  
 　　長澤、松寄、阿部、綱野、佐瀬、  
 　　三木、塚原、神嶋、伊藤(恵)、  
 　　伊藤(隆)、長岡、久保田、長谷川、  
 　　神戸、石井、小林、遠藤、細谷
  - 3月21日(木)さいたま市精度管理委員会：  
 　　神山、長澤
  - 3月21日(木)埼玉県精度管理委員会：神山
  - 3月21日(木)川越市精度管理委員会：神山
  - 3月21日(木)第52回埼玉県医学検査学会実行委員会：三木、佐瀬
  - 3月22日(金)日臨技支部長連絡会議：神山
  - 3月22日(金)会計期末作業：神戸、石井、小林
  - 3月23日(土)日臨技役員研修会：神山
  - 3月23日(土)日臨技理事会：神山
  - 4月8日(月)会計部決算作業：神戸
- II. 報告事項**
- 1 事務局**
- 1) 3月14日(木)Rai BoC Hall担当者と臨時会員総会の打ち合わせをおこなった。  
 　　(別紙資料1)
  - 2) 3月28日(木)公益インフォメーションに令和6年度事業計画書を提出了。
  - 3) 4月1日(月)さいたま市精度管理委員会委員に山口純也副会長を推薦した。
- 2 総務部**
- 1) 3月17日(日)タスクシフト指定講習会(埼玉県023)を開催した。  
 　　(別紙資料2)
  - 2) 4月15日(月)より第537号発行予定。
  - 3) 4月21日(日)タスクシフト指定講習会(埼玉県024)を開催予定。運営責任者は松寄朋子事務次長。講師の変更、小川看護師に代わり津坂専任教員看護師。
  - 4) 5月19日(日)に開催を予定していたタスクシフト指定講習会の開催を見送る。

**3 事業部**

- 1) 3月14日(木)事業部会議を開催した。  
(別紙資料3)

**4 学術部**

- 1) 4月1日(月)6月・7月生涯教育研修プログラムを埼臨技ホームページに掲載した。

**5 精度保証部**

特になし

**6 会計部**

- 1) 石井印刷に埼臨技だより538号Web版7P 36,300円を支払った。  
2) 日臨技より、日臨技生涯教育推進研修会助成金229,500円の入金があった。令和5年度の日臨技生涯教育推進研修会の採用合計20研修会、これまで943,000円の助成金入金があった。

- 3) 埼玉県医師会より臨床検査精度管理事業オープン調査に伴う諸経費2,283,134円およびブラインド調査に伴う諸経費として855,000円の入金があった。

**7 精度管理委員会**

- 1) 3月28日(木)令和5年度埼玉県臨床検査精度管理調査講評会を開催した。

**8 一都八県会長会議**

特になし

**9 日臨技関甲信支部**

特になし

**10 日臨技**

- 1) 4月13日(土)13:00~15:00全国会長会議が開催される。

**11 第52回埼玉県医学検査学会**

- 1) 3月21日(木)第6回実行委員会が開催された。  
(別紙資料4)

**III. 承認事項****1 事務局**

- 1) 会員動向(令和6年度分)

令和6年4月1日現在

会員数 3,538名[令和5年度会員数3,572名]  
(新入会員 30名)

賛助会員 23社[令和4年度 71社]

承認された。

- 2) 令和6年度定時会員総会議案書について  
(別紙資料5)

上記の件について、松寄朋子事務次長より発言があり、審議の結果、承認された。

**2 総務部**

- 1) 70周年記念誌発行について

・発送は会員名簿と同様12月としたい。

上記の件について、阿部健一郎総務部長より発言があり、審議の結果、承認された。

・例年、だよりで会員名簿作成のお願いを出しているが、同時に案内を出したい。  
(別紙資料7)

・希望者はグーグルフォームまたはクエスチントから申し込みをする。

上記の2件について、阿部健一郎総務部長より発言があり、審議の結果、希望者を募ることに関して再考となつた。

**3 事業部**

特になし

**4 学術部**

特になし

**5 精度保証部**

特になし

**6 会計部**

特になし

**7 精度管理委員会**

特になし

**8 第52回埼玉県医学検査学会**

- 1) 生涯教育点数の付与について生涯教育委員会に依頼したい。

上記の件について、三木隆治学会担当理事より発言があり、審議の結果、承認された。

- 2) 登録者数を引き継ぐため、51回学会から52回学会に公式LINEの権限を移行したい。

上記の件について、三木隆治学会担当理事より発言があり、審議の結果、学会ホームページに由を掲載することで承認された。

- 3) 演題募集開始の案内を研究班勉強会の際にアナウンスしたい。

上記の件について、三木隆治学会担当理事より発言があり、審議の結果、承認された。

## IV. 議題

## 1 事務局

特になし

## 2 総務部

特になし

## 3 事業部

## 1) 令和7年埼臨技賀詞交歓会各賞受賞記念祝

賀会会場について (別紙資料8)

上記の件について、塙原晃事業部長より  
発言があり、審議の結果、提案会場案で検討を進めることとなった。

## 4 学術部

特になし

## 5 精度保証部

特になし

## 6 会計部

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## あとがき

新しい年は1月1日からで、新しい年度は一般的には4月1日からですが、法人運営ではもう1つの新しい区切り日があります。それは、定時会員総会の日であり、役員改選年度の場合は、総会が閉会した時点で新しい役員の任期が始まります。

私事で恐縮ですが、1964年生まれの辰年の年男であり9月に還暦を迎えます。光陰矢の如し・・・1995年に臨床化学検査研究班員となり、2001年に理事を拝命し、現在は会長職3期目で、人生の約半分を技師会と共に歩んできました。その間、多くの方と出会い、多くのことを経験し、多くのことを学びました。もちろん、失敗もしました。書ききれないくらいの経験を重ね、自分なりに納得・満足できる域に達したと思っています（自己満足の境地？）。

もう良いカナ・・・。後進にバトンを渡す時期はどうに過ぎていたのかもしれません。  
立つ鳥跡を濁さず。たくさんの思い出を胸に詰め込み、綺麗に埼臨技役員を卒業したいと思います。

皆さま、ありがとうございました！

(神山 記)

